

# よ読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山市にある興陽高の3年生22人が、日々学んだことを生かし、卒業制作として本格的な遊具を校内に作りしました。記事を読んで質問に答えましょう。

低学年も  
チャレンジ!

Q1

学校や公園にどんな遊具があったらうれしいかな。

Q2

完成した遊具は二つあります。正しいものを選んでね。

- ①ジェットコースターとメリーゴーラウンド
- ②バンジージャンプとブランコ
- ③大型の滑り台とミニ列車

## 地域の子どもに遊び場を

岡山

岡山市南区藤田の興陽高の3年生22人が、校内で大型の滑り台と子どもが乗れるミニ列車を完成させた。地域の子どもたちに遊び場を提供したいと生徒が発案。卒業制作として7カ月かけて取り組み、日頃培った技術を駆使して本格的な遊具に仕上げた。(難波明日香)

### 興陽高生 卒業制作

滑り台(高さ1・8メートル、全長5・5メートル、幅2・5メートル)は校内の庭園の一角にあり、造園デザイン科の15人が手がけた。御影石などの自然石をアーチ状に積み上げて固め、モルタル製の滑り面(全長2・6メートル)と手すりを整備。安全面にも配慮して高さ1・1メートルの木柵を設けた。はしごを上って滑ることができ、土台部分でトンネルくぐりやボルダリング(岩登り)も楽しめる構造になっている。3両編成のミニ列車は農業機械科の7人が担当。蒸気機関車(SL)形の先頭車両にバッテリーとモーターを搭載して運転席を設け、乗車席を備えた車両2両(定員計4人)をけん引して走る。総延長約40メートルの円形レールも手作りした。同科の斉藤珀瑠さん(18)は「レールのつなぎ目を溶接する

### 校内に滑り台、ミニ列車

作業に苦労した。何度もやり直しながら仕上げた」と振り返る。いずれも11月中旬に完成し、今月12日には近くの六区保育園の園児25人を招待。園児は生徒とともに遊具で遊びながら交流を深めた。滑り台には行列ができ、列車が動き出すと歓声が上がった。年長の藤井春陽ちゃん(6)は「滑り台でたくさん滑った。列車はわくわくして楽しかった」と喜んだ。造園デザイン科の大西咲都さん(18)は「子どもがけがをしないように角をなくしたり、木をコーティングしたりと工夫した。笑顔で遊んでくれてうれしい」と目を細めていた。

庭園は一般開放しており、事前に学校に連絡すれば滑り台で遊べる。ミニ列車は運搬可能で、地域のイベントなどでの利用を想定している。問い合わせは同校(086-2996-2268)。



興陽高の生徒が手がけた大型の滑り台(上)とミニ列車(下)。12日には招かれた園児たちが歓声を上げて遊んだ

Q3

高校生たちは、どうして遊具をつくらうと思ったのかな。リード(第1段落)から探してみよう。

過去の問題は  
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由  
にダウンロードして、学校や家庭  
での学習に活用してください。

2025年12月19日付、都市圏面